

肥満が身体に及ぼす影響と疾患

<肥満が直接的に及ぼす問題>

- 体温調節異常により、熱中症や呼吸不全に陥りやすい
- 隠れた基礎疾患や未病が多く、きっかけにより発症のリスクが高い
- 外科手術の危険性の増大
 - ・出血の増加
 - ・内臓器の視認および触知、把持などが困難となる
- 全身麻酔の危険性の増大
 - ・麻酔薬の投与量の増加
 - ・脂肪への蓄積が起こり、麻酔効果や覚醒の悪化が著しい
 - ・処置やモニタリング、気管挿管など技術的な難易度の上昇
 - ・体温調節異常、換気量低下・換気不全

<肥満がその原因や悪化要因となる疾患および肥満があることで疑われる疾患>

- 糖尿病や膵炎、胆泥症、三臓器炎などを発症する
- 関節・運動器疾患の増大
- 心臓や呼吸器疾患のリスクの増大
- 肝臓の機能低下、肝リポドーシス、高脂質血症
- 運動性や活力、繁殖力の低下、腫瘍リスクの増大
- 皮膚感染症や脂漏性皮膚炎、間擦疹、アトピー・アレルギー
- 膀胱炎や尿路結石症のリスクの増大